

令和6年度事業報告

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

I 概 況

滑川町シルバー人材センターは平成5年3月設立以来、30年を経過し、さらなる発展を目指して、事業を推進してきました。また、引き続き、安全第一に健康で働くことを大前提とし、会員の拡大、就業機会の拡大、職域の拡大、安全・適正就業を目標に取り組んできました。コロナウイルス感染症は第5類に移行後も高齢者の就業の場であるシルバー人材センターは、感染に対する不安はなおも続いていました。幸い、運営に支障をきたす事態に至らず済みしました。

ただ、就業会員のケガや夏の暑さ、高齢化等による就業機会の減少も重なり、就業要望に対応できないこともありました。

このため、就業の機会に確実に対応するため会員の拡大に取り組みました。取組みの方法としては、毎月第3水曜日の入会説明会を基本に、随時に希望者への説明、広報委員会の作成したチラシの全戸配布の実施、会員による紹介、会員及び60歳以上の一般の方を対象とした肩掛け式草刈機の講習会を計画しました。

また、女性会員の入会が少ないことから、女性会員の拡大に力を入れて取り組みました。滑川まつりでは、ブースを設けて入会説明を行ったほか、募集チラシを配布して会員拡大、就業拡大に取り組みました。会員数は入会者に対して退会者も多く、取り組みの結果としては、去年の会員数を下回ってしまいました。

就業機会の拡大については、未就業の方に就業の声掛けを行うことや地域班別に身近な就業を計画し、通学路の除草作業等を行い、就業率の改善に努めました。

職域の拡大については、総務委員会の委員と就業開拓員と2名で町内の事業所の中で、女性の就業につながるような業務をお願いするため、福祉施設、工業団地、町内店舗、寺院等を訪問し、いくつか就業に結びつけることができました。墓地管理の業務については寺院や霊園を訪問して就業に結びつけることができましたが、何件かに留まりさらに呼びかけていく必要があります。

安全就業については、安全・適正就業委員会委員と事務局で現場巡視を実施し安全就業への取り組みを実施しました。また、委員会から提案のあった事故ゼロの日数・事故発生件数の掲示、作業における安全就業チェックリストへの毎日記入を引き続き、実施しました。

適正就業については「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン冊子」を新規会員に配布して周知に努めました。

会員、役員、職員の取組みにより重篤な人身事故等は無く就業を行って頂きましたが、軽易な事故やケガについては幾つかありました。依然として飛び石の事故が多く、道路等、周辺に車のある場所の草刈りには、飛散防止ネットの使用を義務付けました。また、刈り刃も飛散しにくいものに変更しました。今後とも、安全・適正に努めながら、請負、派遣、職業紹介の事業に取り組んで参りますとともに、当シルバーとしては、基本理念である「自主」「自立」「共働」「共助」を再確認し、事業遂行に努力してまいります。

事業面では、コロナウィルス感染の不安が残る中、個人、滑川町、町内企業からの受託事業収入で79,100千円(前年度対比2,224千円2.9%増)となり、内配分金では61,130千円(前年度対比1,201千円2.0%増)と前年度を上回りました。

シルバー派遣事業については、8件の事業に会員17名を派遣、契約金額は6,820千円となりました。(前年度20名、契約金額6,831千円)

財政面においては、会員数はほぼ同数に留まり、新規の入会者は会費を月割りで徴収しています。前年339千円から331千円に減となっています。

国の補助金としては町の補助金が当初7,000千円と前年より500千円増額いただいたことにより、前年度を上回る額の7,000千円が交付されました。厳しい財政の中、町からは補助金が増額されたことにより国からの交付額が増え合計で14,000千円を支援していただきました。

国・町からの支援を受けながら、受託事業による受取事務費7,333千円を充当し、事業を進めてきました。経営状況はインボイス制度による消費税の増や職員等の人件費の増により赤字となりました。

1 安全・適正就業の取組み

(1) 安全・適正就業委員会では重篤事故を防止するため、就業現場の巡回指導や就業前の朝礼の実施、安全の日の設定、安全標語の募集、唱和を実施しました。

就業している会員には、健康診査の受診の報告、及び免許証の提示を実施しました。また、連合主催のオンライン安全・適正就業研修に参加してきました。

(2) 就業の公平を図るため、就業基準に基づき公共事業の就業者で5年超の該当者については、就業の交替をさせて頂きました。また、75歳以下であった年齢を80歳まで引き上げて、就業の意欲の向上に努めるとともに、健康状態など確認を行わせていただきました。

(3) 請負での就業が適さないものについては、派遣等の取組を行うとともにガイドライン冊子を使用し、新入会員、新規発注者の適正就業周知に努めました。

(4) 作業事故を防ぐため、就業前・就業後現場確認の記入を班長にお願いして、ヒヤリハットの取組みを行い、改善要望事項の意見を添えていただきました。

また、事故防止の意識付けのため、事故ゼロの日日数・事故発生件数の掲示をするとともに、個人個人に作業における安全就業チェックリストを毎日記入して、事故防止、就業上のトラブル予防に努めました。また、チェックリスト項目に草刈作業では飛散防止ネットの網戸を持参するを追加しました。刈り刃についてもシルバー使用のものを40枚刃に変更しました。

2 普及啓発・会員拡大事業の取組み

(1) 各小学校への草刈り奉仕活動などの取組みを通して、地域貢献を行うことにより地域住民へのセンターの普及啓発を行いました。

(2) インターネットの普及により利用が増えるなか、シルバーで公表する資料についてはホームページに掲載してきました。同時にシルバー会員の拡大を図るため、滑川まつりに参加し、ブースを設けて入会説明を行ったほか、募集チラシを配布して啓発活動を行いました。

- (3) シルバーの知名度を上げ会員の増加及び就業機会の拡大を図るため、5月と11月にチラシの全戸配布を行いました。11月分は滑川まつりの時にも配布しました。会員開拓と共にチラシを利用し、就業開拓を兼ねて普及啓発に努めました。
- (4) 肩掛け式草刈機操作の講習会を町内在住60歳以上の一般の方を含めた形で取組み、新規会員の拡大に努めましたが、応募がなく開催しませんでした。
- (5) いきいき埼玉主導による会員拡大事業に取り組むとともに、女性会員の拡大のために、希望職種等のアンケート調査の結果を踏まえて就業場所を確保できるように就業開拓を進めました。

3 就業開拓事業の取組み

- (1) 総務委員会と就業開拓員を中心に受注拡大のため、引き続き、事業所等を訪問して、特に、女性会員の就業につながるような業務をお願いしてきました。また、墓地の管理・清掃の業務を依頼するため、寺院や霊園を訪問しました。年度中何件かの発注が企業から寄せられましたが、希望する会員が見つからない等、全てに対応するまでには行きませんでした。会員の拡大等とマッチングしつつあり、これらの活動の継続が受注増に繋がっております。今後も活動を継続して行きます。さらに、就業機会を均等にスピーディーに周知するため、パソコンやスマートフォン（SMS）を活用した情報提供も推進しました。
- (2) 会員の口コミによる就業開拓効果の受注もありました。
- (3) 町と協力して空き地・空き家管理事業の取組みを継続して実施しました。空き家の管理、空き地の管理の受注拡大のため、町への支援を要請しました。

4 研修・講習事業の取組み

- (1) 肩掛け式草刈機操作、植木の剪定講習会を企画し、会員技術の向上を図るとともに、肩掛け式草刈機操作の講習会では、会員以外の60歳以上の町民の参加を募集しましたが、応募がなく開催しませんでした。植木の剪定講習会では日程調整がつかず、開催しませんでした。
- (2) 新規入会会員の体力の状態確認のため、またフレイル予防のため体力測定を実施しました。
- (3) 会員のモラルの向上を図るため、講師を招き、「基本対応を確認しよう」と題してマナー講習会を開催しました。
- (4) フレイル予防につなげるため、町主催の元気アップ体操教室及び筋力アップ体操教室に参加しました。

5 調査研究事業の取組み

- (1) 第3次中期計画の策定会議を開催し、令和6年度から10年度までの5年間の計画書を策定しました。今後シルバー人材センターの指針となるものです。

6 組織活性化と運営体制・財政基盤の強化の取組み

- (1) 組織を充実するため、総務委員会、広報委員会、安全・適正就業委員会の取組みを各委員会主導で進めることができました。

- (2) シルバーの活動状況や会員の趣味などを掲載、会員にとってシルバー人材センターがより身近な存在となることを願い、年2回の広報紙発行（令和6年8月、令和7年2月）を実施しました。
- (3) 地域班の活動は地域の実状に合わせて、取り組んでいただきました。月輪班、六軒班、羽尾一区班、みなみ野・都地域班、月の輪班において、地域内の通学路を中心に除草や草刈り等の作業を行いました。
- (4) 財政基盤強化のため、材料費の一部見直しを提案しました。

7 相談事業の取組み

- (1) 高齢化社会が進行するなか、シルバー会員を希望される方については毎月入会説明会を実施しています。希望者に対する説明は、来所者には随時に行いました。滑川まつりでの実施は、シルバー人材センターのブースを設けて入会希望者に説明を行いました。

以上の活動の結果、令和6年度の会員数は令和7年3月末で173人、内訳は（男123人、女50人）となり前年度177人に対し4人減少となりました。

II 役員体制

令和6年度の役員体制は、次のとおりです。

役職名	氏名		備考
理事長	小柳 博司	会 員	R.6.6.22就任
副理事長	石川 光男	会 員	R.6.6.22就任
理 事	島田久美子	会 員	R.6.6.22就任
理 事	鈴木 次雄	会 員	R.6.6.22就任
理 事	武藤 誠一	会 員	R.6.6.22就任
理 事	大島 弘	会 員	R.6.6.22就任
理 事	中村 昭男	会 員	R.6.6.22就任
理 事	島田 幸作	会 員	R.6.6.22就任
理 事	高橋 博	会 員	R.6.6.22就任
理 事	横溝 貫二	会 員	R.6.6.22就任
理事（事務局長）	堀口 幸男	会 員	R.6.6.22就任
監 事	武井 揚一	会 員	R.6.6.22就任
監 事	金子 辰夫	会 員	R.6.6.22就任

Ⅲ 会員の状況

(ア) 入退会者の状況

令和6年3月末会員数			入会者数			退会者数			令和7年3月末会員数		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
132	45	177	8	10	18	17	5	22	123	50	173

【入会理由内訳】

生きがい・社会参加	6	健康維持・増進	4
仲間作り	1	経済的理由	4
時間的余裕	3	その他	0

【退会理由内訳】

病気（本人）	8	家庭の事情（介護）	3
シルバー事業を通じて就職	0	会費未納	0
その他で就職	0	加齢	6
死亡	2	他団体等への加入	0
転居	1	センター運営に対する不満	0
希望する仕事なし	1	未回答（不明）	0
就業機会なし	1	その他	0

(イ) 会員の年齢別、男女別の状況

令和7年3月末現在

	男性	女性	合計	構成比
60～64歳	2	4	6	3.5%
65～69歳	18	9	27	15.6%
70～74歳	41	15	56	32.4%
75～79歳	32	18	50	28.9%
80歳以上	30	4	34	19.7%
合計	123	50	173	

(ウ) 傷害保険等の加入及び適用事故について

1 傷害保険関係

区分	就業中	就業途上	合計
通院	11	0	11
入院	0	0	0
死亡	0	0	0
合計	11	0	11

2 賠償責任等の保険関係

器物等の破損 2件

IV 事業実績

(ア) 請負事業実績

令和7年3月末現在

	就業人員		契 約 金 額			
	当月実人員	延人員	配分金	事務費	材料費	計
4月	107	1,091	5,555,759	666,435	929,423	7,151,617
5月	107	1,068	5,338,554	640,420	955,338	6,934,312
6月	114	1,082	5,344,638	641,088	926,242	6,911,968
7月	110	1,121	5,234,299	627,955	813,021	6,675,275
8月	99	862	3,956,503	474,557	616,128	5,047,188
9月	111	1,075	5,090,299	610,685	983,736	6,684,720
10月	108	1,150	5,583,279	669,787	1,260,007	7,513,073
11月	102	1,075	5,627,684	675,084	969,142	7,271,910
12月	100	987	5,067,341	607,817	867,358	6,542,516
1月	97	954	4,916,031	589,719	894,749	6,400,499
2月	101	918	4,757,169	570,661	874,964	6,202,794
3月	98	912	4,658,511	558,779	546,499	5,763,789
合計	1,254	12,295	61,130,067	7,332,987	10,636,607	79,099,661
月平均	104.5	1,025	5,094,172	611,082	886,384	6,591,638

* 「当月実人員」とは、月内に1日以上就業した会員数。

(イ) 年度別就業率

年度	会員数	就業会員数	就業率
令和2年	176	152	86.4
令和3年	174	140	80.5
令和4年	177	141	79.7
令和5年	177	142	80.2
令和6年	173	146	84.4

(ウ) 請負契約件数 (受注先別)

令和7年3月末現在

	受注先別			
	公 共	民 間	個 人	計
令和5年度受注件数 (件)	44	168	501	713
令和6年度受注件数 (件)	45	187	474	706

(エ) 請負契約金額 (受注先別)

令和7年3月末現在

	受注先別			
	公 共	民 間	個 人	計
令和5年度契約金額 (円)	30,038,758	27,408,621	19,428,665	76,876,044
令和6年度契約金額 (円)	31,468,758	28,167,094	19,463,809	79,099,661

(オ) 派遣事業実績

令和7年3月末現在

	受注件数 (件)	延人員 (人)	契約金額 (円)		
			賃 金	手数料等	合 計
令和5年度	8	893	5,343,435	1,487,285	6,830,720
令和6年度	8	888	5,377,449	1,442,738	6,820,187

V 会議の開催

(ア) 総会

会議の名称	開催日	議案等
令和6年度 定時総会	6月22日	令和5年度収支決算の承認について 役員（理事・監事）の選任について

(イ) 理事会

会議の名称	開催日	議案等
理事会	5月24日	令和5年度収支補正予算（第3号）専決処分の承認について 令和5年度事業報告の承認について 令和5年度収支決算の承認について（監査報告含む） 役員（理事・監事）候補者の選考について 令和6年度定時総会招集について 会員10年表彰について 財務規程に基づく会計関係書類の処分の承認について 利益相反取引の終了報告について 利益相反取引の承認について
	6月22日	理事長・副理事長・専務理事の互選について 利益相反取引の承認について 新規加入会員の承認について
	8月23日	令和6年度補正予算（第1号）の承認について 新規加入会員の承認について
	10月22日	利用規約の制定の承認について 会員業務就業規約の制定の承認について 新規加入会員の承認について
	12月20日	第3次中期計画の承認について 配分金規約の一部改正の承認について 職員の給与の決定等に関する基準の一部改正の承認について 給与規程の一部改正の承認について 新規加入会員の承認について
	2月21日	新規加入会員の承認について（決議の省略による）
	3月18日	令和7年度事業計画及び収支予算の承認について 令和6年度補正予算（第2号）の承認について 就業開拓員設置要綱の一部改正について 利益相反取引の承認について 役員賠償責任保険の加入の承認について 新規加入会員の承認について

(ウ) 監査

会議の名称	開催日	議案等
会計監査	5月14日	令和5年度事業実績及び収支決算について
	8月6日	事業実績及び帳簿・現金預金の出納管理、未収金状況について
	12月10日	事業実績及び帳簿・現金預金の出納管理、未収金状況について
	3月4日	事業実績及び帳簿・現金預金の出納管理、備品管理、未収金状況について
会計指導	5月9日	さいたま税理士法人による会計指導（令和4年度収支決算書類指導等）
	12月3日	さいたま税理士法人による会計指導（令和5年度上半期書類整備状況指導等）
	随時	相談業務（さいたま税理士法人）

(エ) 委員会

1 安全・適正就業委員会

会議の名称	開催日	議案等
安全・適正就業委員会	4月15日	事故報告及び令和5年度に発生した事故について 令和6年度安全・適正就業推進計画実施予定表 毎月15日の「安全の日」について
	7月8日	令和6年度4月～6月分の事故報告 フレイル予防事業について
	9月9日	令和6年度7月～8月分の事故報告 毎月15日開催の「安全の日」について 来年度（令和7年）8月の緑地作業受付について
	11月11日	令和6年度9月～11月分の事故報告 草刈機操作安全講習会（10月5日予定）中止報告 チェックリストの見直しについて
	1月20日	令和6年度樹木剪定講習会中止報告 安全標語優秀作品の選定について チェックリストの「網戸」について 令和7年度安全・適正就業委員会について

会議の名称	開催日	巡視先
現場巡視	4月15日	月の輪個人宅 剪定作業 山田地内 草刈
	7月8日	月の輪地内 刈り草片付け 山田地内 草刈・除草
	9月9日	月輪個人宅 草刈 月の輪地内 剪定
	11月11日	福田地内 草刈・剪定 みなみ野地内 草刈
	1月20日	中尾地内 剪定 福田地内 草刈

2 総務委員会

会議の名称	開催日	議案等
総務委員会	4月19日	実行スケジュールのチェック 第2次中期計画フォロー 第3次中期計画策定 第3次中期計画フォロー マナー講習会開催
	5月28日	
	6月28日	
	7月30日	
	8月30日	
	9月27日	
	10月25日	
	11月29日	
	12月24日	
	1月24日	
	2月21日	
	3月28日	

会議の名称	開催日	訪問場所
就業開拓活動	4月9日	訪問 霊園3か所
	4月23日	訪問 霊園4か所
	5月10日	訪問 滑川町社会福祉協議会
	8月27日	訪問 東松山工業団地工業会
	1月10日	訪問 企業4社
	2月27日	訪問 霊園1か所、国営武蔵丘陵森林公園事務所、滑川町商工会
	3月11日	訪問 商業施設2か所、企業1社

3 広報委員会

会議の名称	開催日	議案等
広報委員会	4月22日	5月発行全戸配布チラシ仕分け作業
	5月13日	8月発行機関紙編集会議
	7月1日	8月発行機関紙編集会議
	7月22日	8月発行機関紙編集会議
	8月5日	8月発行機関紙編集会議
	8月26日	10月発行全戸配布チラシ編集会議
	9月9日	10月発行全戸配布チラシ編集会議
	10月7日	10月発行全戸配布チラシ仕分け作業
	10月21日	2月発行機関紙編集会議
	11月18日	2月発行機関紙編集会議
	12月23日	2月発行機関紙編集会議
	1月6日	2月発行機関紙編集会議
	3月17日	5月発行全戸配布チラシ編集会議

(オ) 地域班班長会議

会議の名称	開催日	議案等
地域班班長会議	6月7日	定時総会資料配布依頼について

(カ) 地域班活動

開催日	地域	内容
8月24日	福田小地域	福田小学校 草刈・除草
8月24日	月の輪小地域	月の輪小学校 草刈・除草
8月24日	宮前小地域	宮前小学校 草刈・除草
9月15日	六軒地域班	月の輪小学校通学路 草刈・除草
9月21日	月の輪地域班	月の輪小学校通学路 草刈・除草
9月21日	月輪地域班	月の輪小学校通学路 草刈・除草
9月21日	羽一地域班	宮前小学校通学路 草刈・除草
10月6日	みなみ野・都地域班	宮前小学校通学路 草刈・除草

VI 講習会・研修会

開催日	場所	内容
8月7日～ 9月25日	コミュニティセンター	元気アップ体操教室 参加者5名 滑川町主催：8月7日、8月21日、9月4日、9月18日、9月25日 全5回
1月17日～ 2月14日	コミュニティセンター	筋力アップ体操教室 参加者5名 滑川町主催：1月17日、1月24日、1月31日、2月7日、2月14日 全5回
3月29日	コミュニティセンター	マナー研修 参加者38名 講師：細田 恵子 氏

VII 互助会

開催日	場所	内容
10月26日	マレットゴルフ場	マレットゴルフ大会 参加者34名
11月20日	山梨方面	親睦旅行 参加者42名
2月1日	徳樹庵熊谷江南店	新年会 参加者35名
3月15日	マレットゴルフ場	マレットゴルフ大会 参加者36名

VIII 指定管理事業

滑川町より、令和6年4月1日から令和12年3月31日までの5年間、滑川町コミュニティセンターの指定管理者として指定を受け、1年目の業務を行い、利用者の利便の向上に努めました。

(1) 施設の概要

- ア 名称 滑川町コミュニティセンター
- イ 所在地 滑川町大字羽尾2440番地1
- ウ 設置 昭和54年7月11日
- エ 構造 鉄筋コンクリート造り 地上2階建（一部3階建）

(2) 開所時間

午前8時30分から午後10時

(3) 休所日

12月29日から翌年1月3日まで

(4) 職員の配置

午前8時30分から午後5時までは、会員2人を配置し、午後5時から午後10時までは会員1人を配置。（午後10時から翌朝8時30分までは、機械警備により対応しました。）

(5) 打合わせ会議

年度間6回の管理者会議を開催し、問題事項や管理事項について確認を行った。

(6) 防災訓練の実施

- ア 令和6年9月11日（水）コミセン管理者の火災避難訓練を実施。
- イ 令和7年3月12日（水）コミセン管理者の火災避難訓練を実施。消防署職員派遣

(7) 施設の利用状況

令和3年度センターの利用状況	18,596人	（申請人数で集計）
令和4年度センターの利用状況	19,024人	（申請人数で集計）
令和5年度センターの利用状況	20,523人	（申請人数で集計）
令和6年度センターの利用状況	22,014人	（申請人数で集計）
前年度比	1,491人	7.3%増

(8) 施設の維持管理

町との契約に基づく維持管理の15項目を実施しました。